

■ 以下から**ひとつ**選んで論じなさい。書き始める前に、①～③のいずれかを表記してはじめてください。

①「時空間の分離・再結合」「行為の再帰的モニタリング」のキーワードを用いて、近代化から再帰的近代化へ至る歴史を、講義に沿って説明せよ。その上で、再帰的近代における問題、課題はどのようなものか、講義に即して記述し、講義で学習したことを参考に克服方法を論述せよ。

②戦後から現代にいたる「現実認識」の歴史的変遷について、講義に沿って説明せよ。その上で、不可能性の時代に生きる上で、メディアはどのような役割を果たし得るか、そしてどのような役割を果たすべきか。講義で学習したことを参考に論述せよ。

③過剰包摂化理論について、講義に沿って説明せよ。その上で、過剰包摂社会における諸個人の存在論的な不安に対処するための方法論について、論述せよ。（難易度高）

※論述せよ＝論理的理由を伴う主張を書くこと。

※なお、記述にあたっては講義内で使用したレジュメ、および講義で話した内容、レジュメ内で参照された記事以外の「知識」の記述は認めない。また、生成AIの利用も認めない。

→生成AIの利用有無を確認する意味も込めて、講義以外の知識の記述は認めない。講義で示された知識から、あなたが思考を巡らせ、知識と格闘した内容を書いてください。

■ 注意事項

・文字数は1700字以上4000字までです。

・提出期限は1/19(23:59分)。大学システムの大規模なクラッシュがない限り、原則として問い合わせには応じません。

※質問がある人は講義終了後にしてください。メール等での質問は、場合によっては応じられない可能性があることを念頭に置いておいてください。

・初回の講義で申し上げた通り、前期に比べると採点基準は厳しくなります。

・提出にあたっては、最終講義終了後すぐ、Moodleに「最終レポート提出先」と題した提出先を設置するので、そこから提出してください。

・提出はいつもの講義課題と同じように、直接記述した上で、最後に
(文字数●●字)

と表記してください。

→なお、文字数は以下のサイトから調べられます。（Moodleに文字数が書いてある場合はそれを利用してもOKです）

<https://phonymianist.sakura.ne.jp/convenienttool/strcount.html>

※word等での提出でないのは

①ひとつひとつwordを開いた採点は教員の負荷が高いこと(超時間かかる!!)

②word等の準備がない学生等への考慮。

文字数を調べたりと面倒かもしれませんが、ご協力ください。

・ネット上の文章をコピーする行為（コピペ）が発覚した場合は0点になりますので、絶対にしないでください。また、配布した各講義資料（PDF）の言葉や定義はそのまま使用して構いませんが、基本は自分の言葉で書くことを念頭に置いてください。

■「説明」と「論じる」ことについて

・レポートの採点基準は、教員に対してではなく、**「この講義を受講していない友人にあなたが書いたものを読ませて理解できるかどうか」**を問います。故に、自分の言葉で説明できているかを問います（ただし、です・ます調ではなく、である調で記述すること）。

→専門用語を説明無しに利用するケースが目立ちます。友達はその言葉を聞いて、理解できるかどうかを考えてください。

・説明とは、この講義で学んだことを自分の言葉でまとめて提示することです。要約と言い換えても構いません。

・レポートで求める「論じる」とは、習ったことを「説明」するだけでなく、自分で思考した内容を相手に「説得的」に記述することを指します。それは単なる「感想」ではなく、講義内で学んだ知識を吟味し、論理的にある結論を導くことです。社会人にとっては「論じる」ことができるかどうかが強く問われます（脱マニュアル）。

・レポートでは、すべてを解決できるような画期的な解決法を求めています。そうではなく、学んだ知識を利用して、自分でいかに考えたか、知識と格闘したかを評価します。

→そのため、レポートでは講義で扱ったこと以外の出来事を調べて記述することは認めません（生成AIの有無の確認にもなります）。逆に言えば、講義で学んだこと以外の知識で穴埋めするのではなく、講義内の知識から、自分で思考を深めてください。外からの知識を検索するのではなく、自分の中で知と格闘してください。学問の真髄はそこにあります。

以上です。短い間でしたが、ありがとうございました。学問や真実は時に辛いことが多いですが、残りの学生生活、がんばってください。

■解説

特にない。すべては上記に書いてあるとおりです。字数はミニマムで1700字としていますが、2000字程度にする場合があります。